

2025年12月期 決算説明会 参考データ集

2026年2月12日

株式会社INPEX（証券コード：1605）



子会社及び関連会社等

子会社 88社

主な子会社	国（地域）名	出資比率	フェーズ	決算期
INPEX JAPAN	日本	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	生産中	12月
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	生産中	12月
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
JODCO Onshore Limited	アラブ首長国連邦	65.76%	生産中	12月
JODCO Lower Zakum Limited	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
INPEX Idemitsu Norge AS	ノルウェー	50.51%	生産中	12月
INPEXマセラ	インドネシア	64.28%	開発準備中	12月
INPEX南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	12月
INPEX北カスピ海石油	カザフスタン	51%	生産中	12月

関連会社等 30社

主な関連会社等	国（地域）名	出資比率	フェーズ	決算期
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	67.82%	生産中	12月
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
首都圏CCS	日本	85%	調査設計中	12月
Potentia Energy Group Pty Ltd	オーストラリア	50%	操業中	12月

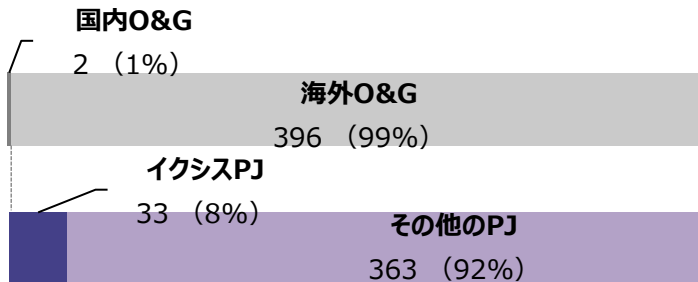
2025年12月期 セグメント情報

	国内O&G	海外O&G		その他*	計	調整額	連結 財務諸表 計上額
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
(百万円)							
売上収益	192,176	334,854	1,486,928	24,383	2,038,342	△26,990	2,011,351
セグメント利益又は損失 (△)	22,452	270,801	131,790	△28,795	396,249	△2,412	393,836

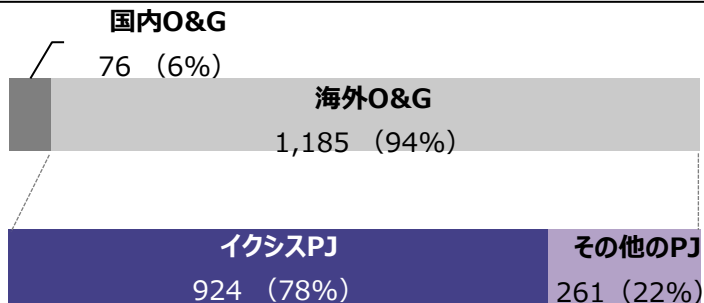
* 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー・電力関連事業及びCCS・水素事業等を含んでおります。

2025年12月期 ネット生産量*

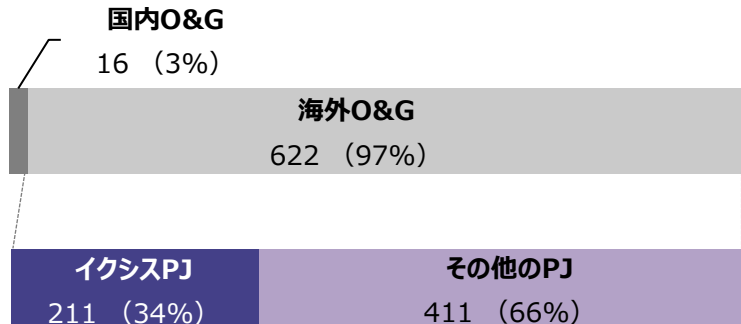
原油・コンデンセート・LPG (398千BOE/日)



天然ガス合計 1,261百万cf/日 (241千BOE/日)



原油・天然ガス合計 (638千BOE/日)

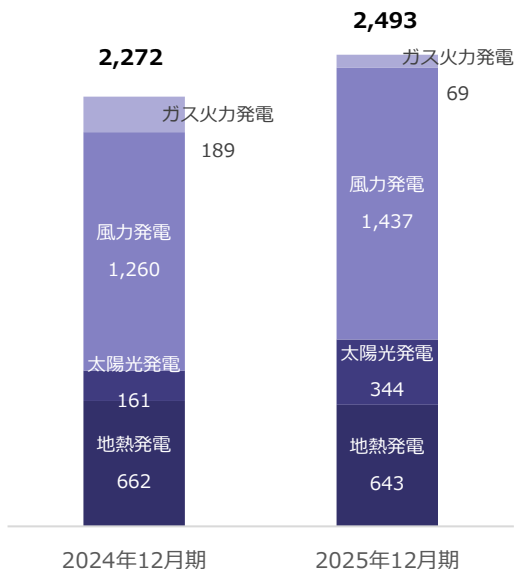


* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示す。

持分発電量及び持分発電容量

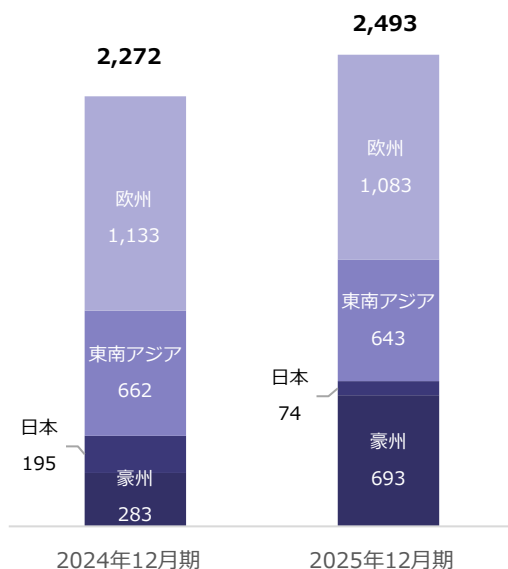
持分発電量（電源別）

(単位：百万kWh)



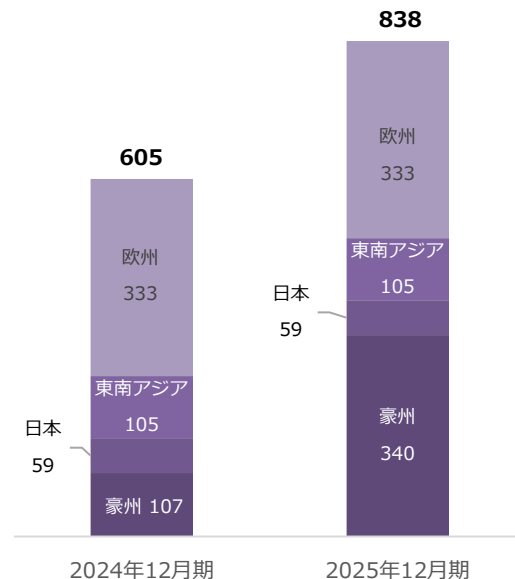
持分発電量*1（コアエリア別）

(単位：百万kWh)



持分発電容量*2（コアエリア別）

(単位：MW)



*1 日本はO&Gセグメント発電を含みます。

*2 稼働中のみ。

2026年12月期 販売量（期初予想）

		2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (期初予想)	増減	増減率
販売量	原油（千bbl）*1	144,673	144,032	△641	△0.4%
	天然ガス（百万cf）*2	446,818	482,675	35,857	8.0%
	うち海外分	366,659	405,004	38,346	10.5%
	うち国内分	80,159 (2,148百万m ³)	77,671 (2,081百万m ³)	△2,488 (△67百万m ³)	△3.1%

*1 国内原油及び石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用

*2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

気候変動対応目標と排出量実績

パリ協定目標¹を支持し、低炭素社会の実現に貢献すべく、以下の目標を定めます。

当社事業の低炭素化

2050
絶対量ネットゼロ
(Scope 1+2) ²

2035
原単位60%低減³
(Scope 1+2) ²

社会の低炭素化への貢献

バリューチェーン全ての
ステークホルダーと協働し
Scope3削減の
取組みを進めます

2035
820万トンCO₂の
削減貢献を目指します

排出量実績

	2023年	2024年	2025年* ⁴
Scope1 (千トン-CO ₂ e)	6,864	6,833	6,387
Scope2 (千トン-CO ₂ e)	56	45	34
GHG原単位 (kg-CO ₂ e/boe)	28	28	26
メタン排出原単位	0.05%	0.05%	0.04%

1. 世界全体の平均気温の上昇を2℃を十分に下回る水準に抑える目標レベル
2. 当社権益分
3. 2019年比の削減目標（現在の経済環境と合理的な予測を反映したものであり、技術進展、経済合理性、各国・地域の施策実現等の事業環境を前提としている）
4. 2025年12月末時点で確認可能な排出量の暫定値

プロジェクトデータ

各プロジェクトの概要を含む詳細データは当社ウェブサイト [「プロジェクト一覧」](#)よりご確認ください。

コアエリア別主要プロジェクト（1/3）

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	天然ガス生産量 (百万立方フィート) *2	フェーズ
オーストラリア						
AC/P66他*1	コンセッション	100	-	-	-	探鉱
WA-50-L及びWA-51-L（イクシス）*1	コンセッション	67.82	上流コンデンセート： 約4.9	-	上流ガス： 約1,362*3	生産
プレリウドFLNGプロジェクト	コンセッション	17.5				生産
ラベンスワース油田	コンセッション	28.5	約0.2	-	-	生産

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	天然ガス生産量 (百万立方フィート) *2*3	フェーズ
アブダビ						
上部ザクム油田	コンセッション	12				生産
下部ザクム油田	コンセッション	10				生産
サター油田・ウムアダルク油田	コンセッション	40				生産
陸上鉱区	コンセッション	5				生産
Onshore Block 4	コンセッション	40				開発

*1 オペレータープロジェクト

*2 プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量

*3 井戸元の生産量ではなく下流事業体への販売に対応した数量（LNG・LPG・プラントコンデンセートの原料として上流から陸上プラントに送られるガス量）

鉱区名・プロジェクト名	国名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	天然ガス生産量 (百万立方フィート) *2*3	フェーズ
東南アジア							
セブク鉱区（ルビーガス田）	インドネシア	PS	13.5	約0.0	-	約22	生産
ベラウ鉱区（タンガーLNG）	インドネシア	PS	7.79% (ネット)	コンデンセート： 約0.7	-	約1,567	生産・開発
マセラ鉱区（アバディLNG） *1	インドネシア	PS	65	-	-	-	開発準備
05-1b / 05-1c鉱区 (サオバン・ダイグエット ガス田)	ベトナム	PS	36.92				生産・開発

*1 オペレータープロジェクト

*2 プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量

*3 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

コアエリア別主要プロジェクト（3/3）

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	天然ガス生産量 *2	フェーズ
日本						

南長岡ガス田ほか*1	コンセッション	-	原油・コンデンセート： 約0.2	-	約2.0百万m ³ /日 (約76百万立方フィート/日)	生産
------------	---------	---	---------------------	---	--	----

鉱区名・プロジェクト名	国名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	ガス生産量 (百万立方フィート) *2*3	フェーズ
欧州							

ACG油田	アゼルバイジャン	PS	9.3072	約33.0	-	-	生産
カシャガン油田	カザフスタン	PS	7.56				生産
スノーレ油田等	ノルウェー	コンセッション	3.3~30% (生産鉱区)	約14.6	-	約276*4	生産・開発・探鉱

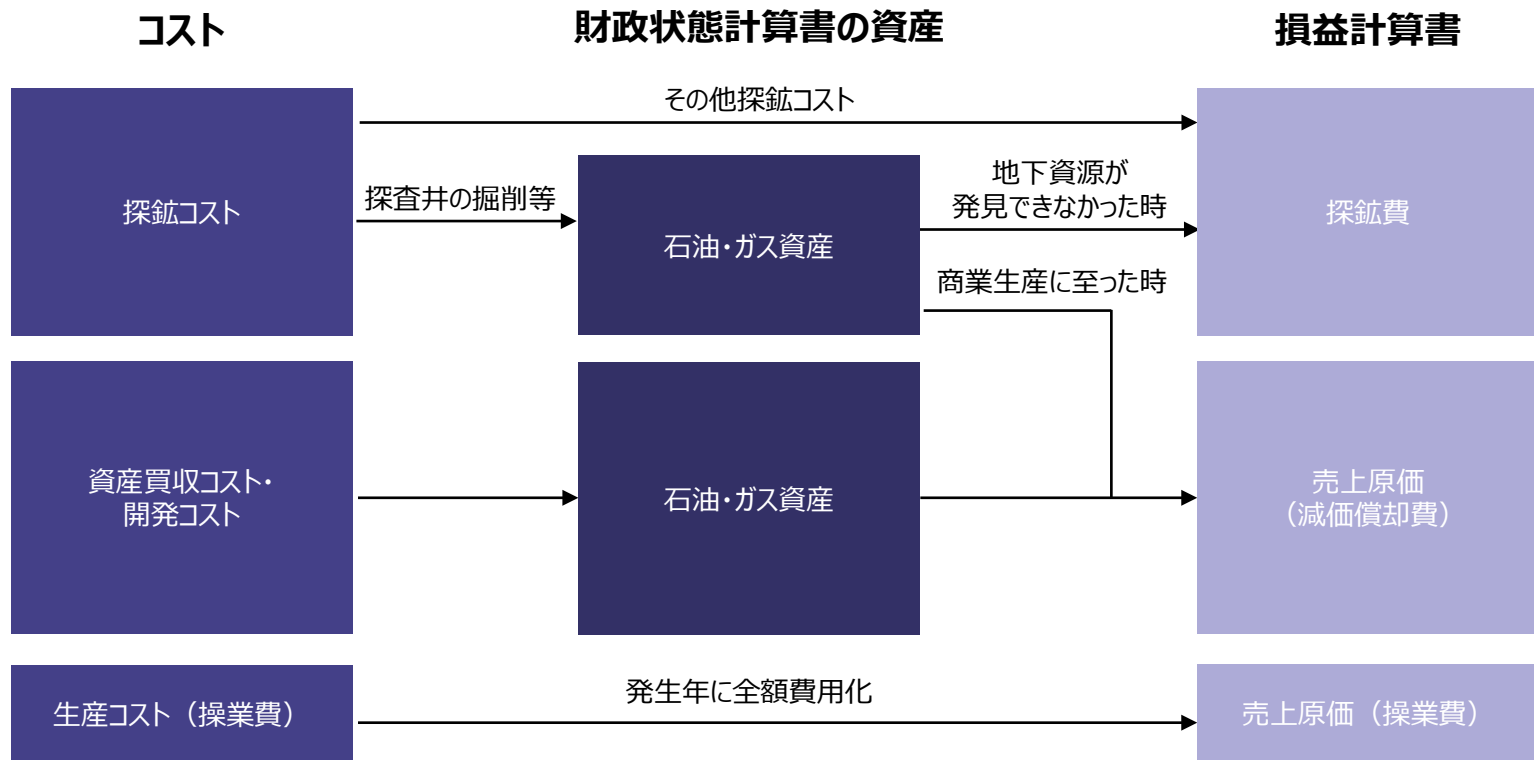
*1 オペレータープロジェクト

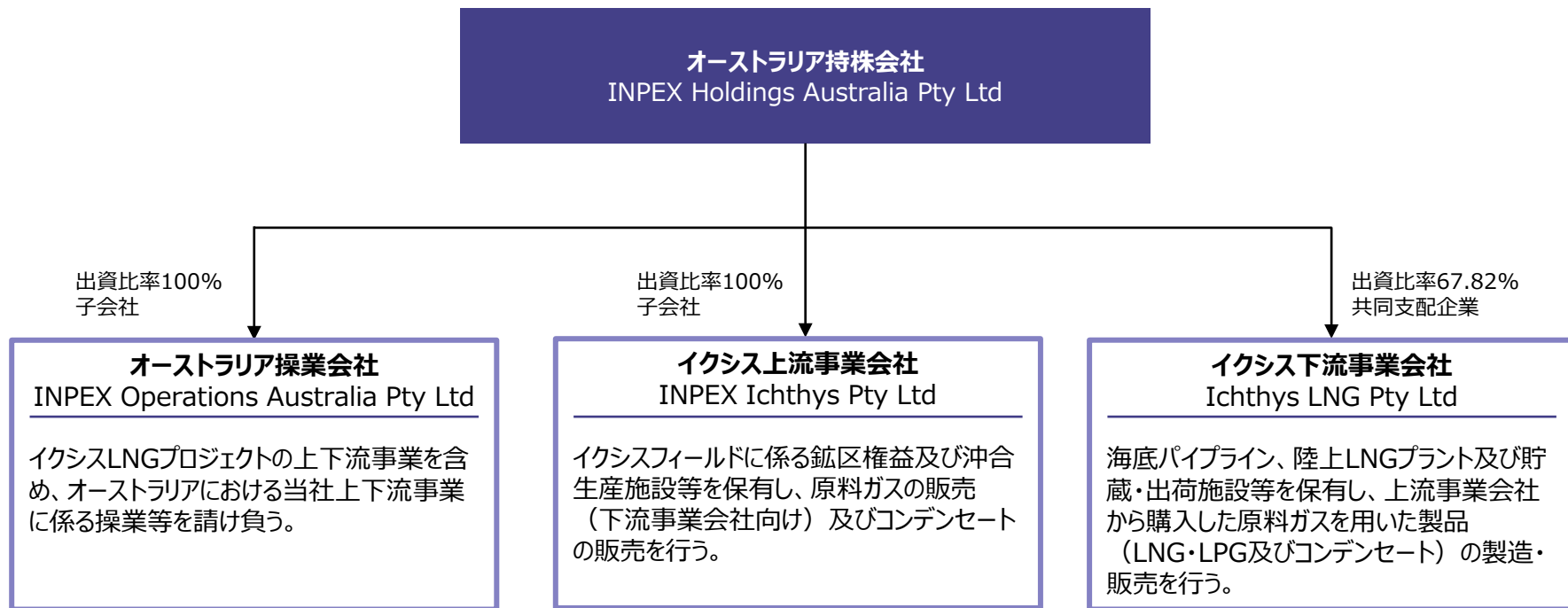
*2 プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量

*3 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量

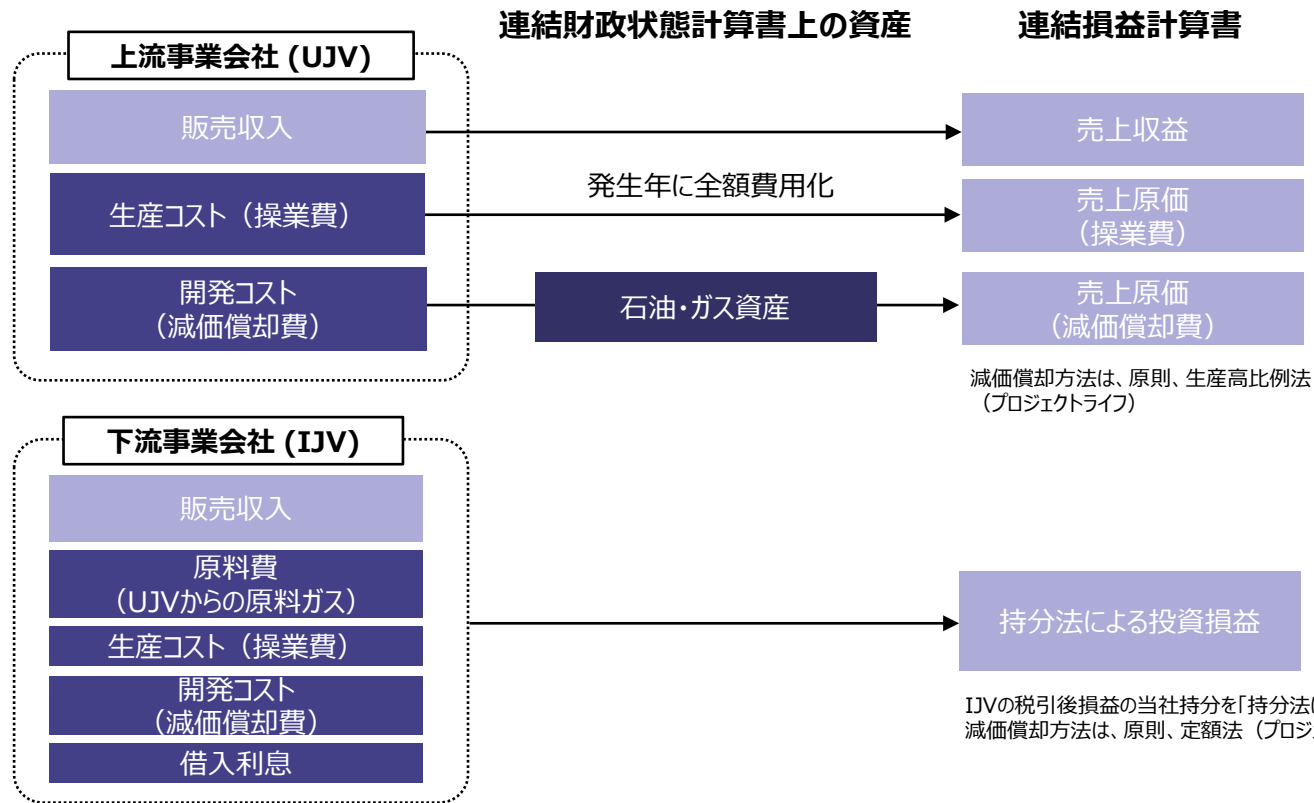
*4 NGL (NATURAL GAS LIQUIDS) も含む

その他

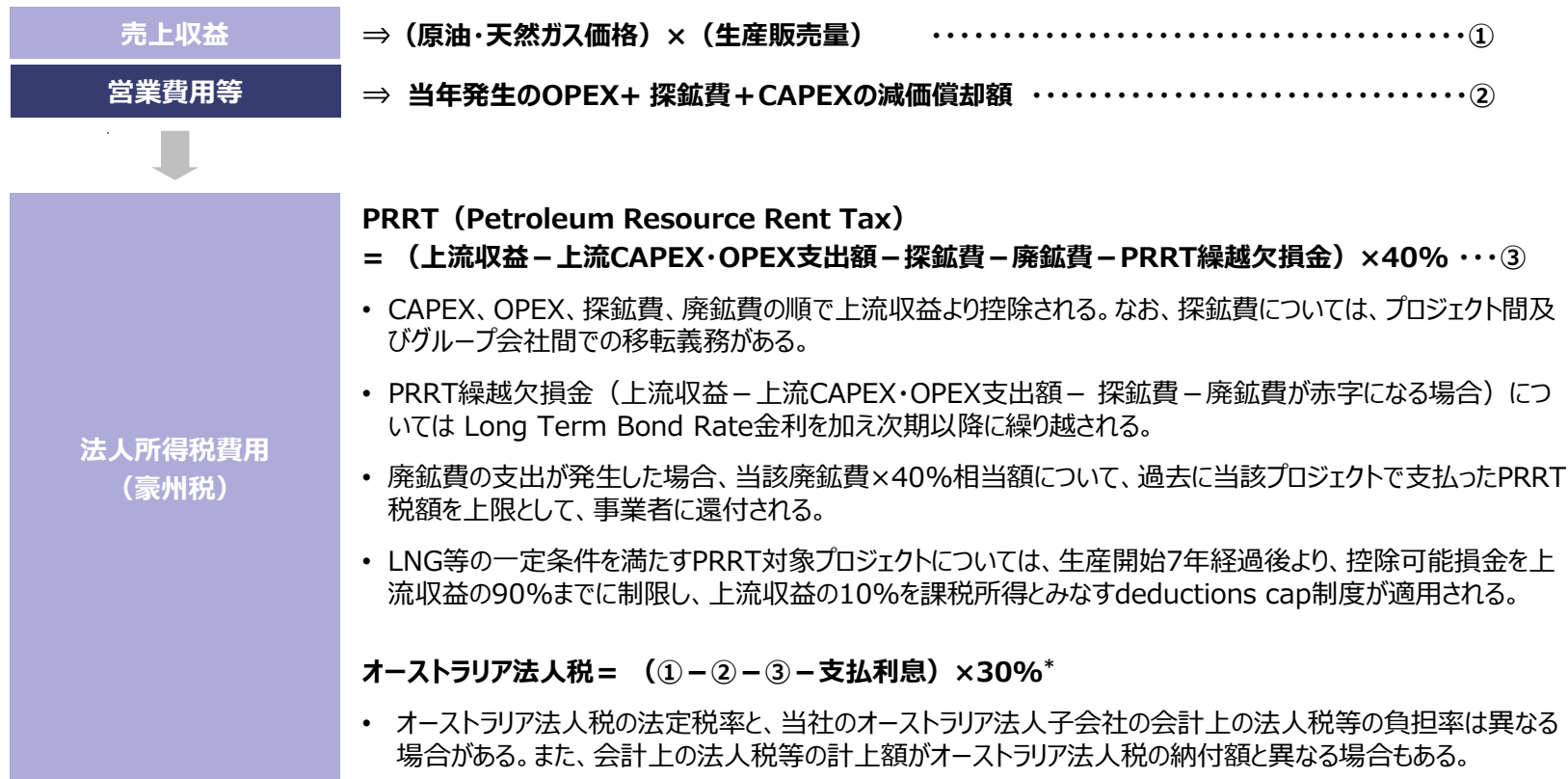




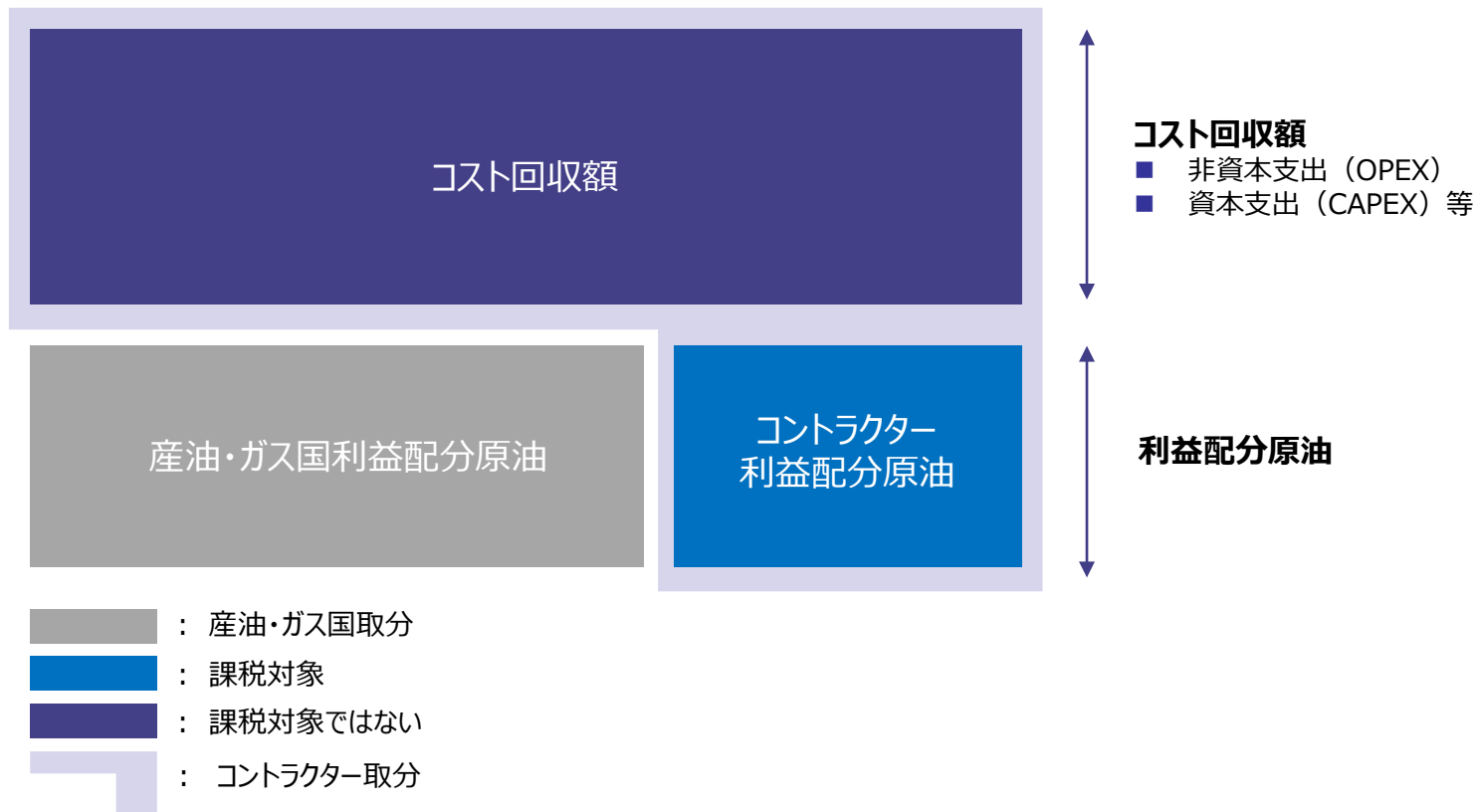
その他 イクシスLNGプロジェクトの会計処理（概略図）



* 下流事業会社(IJV)は共同支配企業であり、同社のキャッシュフローは連結キャッシュフロー計算書上に表示されません。また、コストは主なもの。



生産分与契約（アバディLNG等に適用）



アバディLNGは2025年8月よりFEEDフェーズに移行。**FPSOとOLNGについてはDual FEEDを実施し**、競争力を担保。
EPC費用はFEEDを通じて算出するが、**上流は手元資金、下流は外部借入**にて調達予定。

FEED対象*1	SURF (海底生産施設)	FPSO (洋上生産出荷施設)	GEP (FPSOからOLNGまでの 海底パイプライン)	OLNG (天然ガス液化プラント)
上流/下流	●————— 上流 —————●			●————— 下流 —————●
FEEDコントラクター (究極親会社)	Worley (豪)	① Technip (仏)、日揮(日) ② Saipem (伊)、Tripatra (尼)、McDermott (米)	Worley (豪)	① 日揮 (日)、Technip (仏) ② KBR (米)、Samsung (韓)、 PT Adhi Kara (尼)
EPCコントラクター	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定
EPCファイナンス	●————— 手元資金*2 —————●			●————— 外部借入(TBS*3) —————●

FEED費用 (FEED期間中の作業費・管理費等) : 4 パッケージ合計で約10億ドル (プロジェクト100%ベース)

EPC費用 : 正確な費用はFEEDを通じて算出する

*1 CCSについては、4つのパッケージのいずれかが単独でFEED作業を行うのではなく、各パッケージがそれぞれ所掌するCCS関連施設のFEED作業を行う

*2 当社最終権益保有比率見込み約50%、かつEPC費用総額のうち50%(上流分)を手元資金でまかなう場合、アバディ開発準備資金として少なくとも6,000~8,000億円を積み立てる計画

*3 生産分と契約であるためProject Financeではなく、類似のTrustee Borrowing Scheme (TBS)を活用

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future